

# イワクラ調査票

提出月日 2016年 5月 7日

受付番号 A00016

整理番号 290006

単独・群	概要（遺物・伝承）
<input checked="" type="checkbox"/> 単独のイワクラ <input type="checkbox"/> イワクラ群	<p>稲蔵というのは、寺社名となっているが、もとの意味は磐坐であったと思われる。本殿横に烏帽子型の大きな磐坐が鎮座する。烏帽子石&lt;えぼしいし&gt;と呼ばれ、高さ約6m、周囲約12mの花崗岩の巨岩である。</p> <p>稲蔵神社は石の神であり、大和高原の西麓に連なる石の上、三輪の山々と同じように稲蔵山は神奈備山であり、ここに明神を祀るようになったと考えられる。</p> <p>祭神は生魂明神、大宮能御膳神他で稲蔵明神と呼ばれる。境内裏の稲蔵の森の中にある烏帽子石は高さ6m、周囲12mの花崗岩の巨岩で神が宿る磐坐とされる。江戸時代以降小明の鎮守として信仰を集めてきた。</p>
名称	稲蔵神社 烏帽子岩
公開可否	公開
所在地	参考資料文献（文献・書籍・ホームページ）
<p>奈良県生駒市小明町</p> <p>小明町の国道168号線に面して大きな石鳥居が建っている。一の鳥居をくぐり、住宅街を真っ直ぐに上がっていくと突き当たりに稲蔵神社の杜。</p>	<p><a href="http://www.7kamado.net/inakura.html">www.7kamado.net/inakura.html</a></p> <p>その他</p>
GPSデータ	34.708041, 135.710169
	情報提供者
	柳原輝明
写真	その他
	<p>学会使用欄</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> イワクラ認定</p> <p><input type="checkbox"/> 暫定イワクラ</p> <p><input type="checkbox"/> 未イワクラ</p>